

報道関係者 各位

令和 6年 1月 30日

宗像市 都市再生課



多様な連携でつくる住宅地再生モデル 「ひのさと暮らし LABO シンポジウム」初開催

2月10日(土)から2日間、市で初めての取り組みとして「ひのさと暮らし LABO シンポジウム」を開催します。

シンポジウムは、ベッドタウンとして発展してきた宗像市の最大の住宅地である日の里地区を「寝に帰ってくる場所」から「事業を創出する場」へとまち全体をイノベーションするため、都市と地方の多様な主体や人財の交流を通して住宅地再生モデルの新たな可能性を見出すために行うものです。

都市と地方の連携による活性化の可能性について、全国のまちづくりや地域づくりに携わっているゲストや日の里地区、宗像のまちづくりに関わる人、ひのさと暮らし LABO メンバーの交流から可能性を見出していく事を目的とする「会場参加型シンポジウム」です。

当日は登壇者からの発表を受けて、トークセッション、ワークショップをおこない、シンポジウムを通して継続的な交流が生まれる事を目指します。

- 日 時 令和6年2月10日(土)13時~18時半、2月11日(日)9時~13時
- 場 所 よみうりプラザ(福岡市中央区赤坂1-16-5)
- 参加費 無料
- 対象者 団地再生やまちづくりに関わりのある方
- 主 催 特定非営利活動法人まちづくり宗像、株式会社大風
- 内 容 登壇者による発表やトークセッション、ワークショップ
詳細については、別紙チラシをご参照ください。

<ひのさと暮らし LABO について>

ひのさと暮らし LABO とは、住宅団地再生のモデル地区と位置付けている日の里地区で、地域住民や民間業者、まちづくり団体、行政といった多様な主体が連携し、①エリアの価値向上(地域コミュニティの醸成、福祉、多様な人材の活躍、地域経済の活性化、不動産などの利活用)に資する取り組みを研究し検討、実施していく、②住宅団地の再生という社会課題を解決するための実践的研究を行うことを目的とする団体です。

【問い合わせ先】

宗像市 都市再生課 担当:前村、濱村 Tel:0940-36-9777